

授業科目名：	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名： 手島 純 三宅一彦
教職概論			担当形態： オムニバス
実務内容 (実務家教員の場合)	本科目は学校現場に則した学修内容であり、学校現場経験のある教員が実践的な視点で説明を行う。		
科 目	教育の基礎的理解に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		
「学位授与の方針」との関係			
DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる(専門知) DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる(実践力)			
授業のテーマ及び到達目標			
(1) 教職の意義について学び、教職への意欲を高めさせる。 (2) 教員の役割・職務内容を理解し、自らの適正を自覚させる。 (3) 教員に求められる資質や能力を身につけさせる。			
授業の概要			
教職の意義・教員の役割・職務内容等についての理解を深めさせることで、教職に対する自らの適性を考察し、資質・能力を身につけさせる。 加えて、今日の教員に求められていることを把握させ、「学び続ける教員像」構築の土台を形成できるようにする。教育の諸問題は、私たちが生きている今ここで、起こっている現実であることから、書籍やネットなど閉じた媒体のみに学ぶだけではなく、生身の人間、動いている世の中から発掘すべきである。そこで、授業では学生諸君と担当教員との対話等から「教育とは何か」「問題点は何か」「いかに改革すべきか」などを考察してもらう。			
授業計画			
第1回:教職とは何か① 公教育と教員(三宅) 第2回:教職とは何か② 教職の職業的特徴(三宅) 第3回:教職とは何か③ 教職の全体像(三宅) 第4回:教員の役割(手島) 第5回:学び続ける教員像(手島) 第6回:教員に求められていること(手島) 第7回:専門職としての教員(手島) 第8回:教職にかかわる法令① 教育基本法・学校教育法(手島) 第9回:教職にかかわる法令② 中央教育審議会答申(手島) 第10回:チーム学校とは何か(三宅) 第11回:チーム学校の実例(三宅) 第12回:職務の実例① 教員のルーティン(手島) 第13回:職務の実例② 教員の心構え(手島) 第14回:教育の動向と教員(三宅) 第15回:まとめ(手島) 科目修得試験			
スクーリングでの学修			
スクーリング(オンデマンド視聴も同じ)では前半に初等教育、後半に中等教育についての内容を展開し、一日を通して初等中等教育の全体像を把握できるようにする。			
テキスト			
手島純・天野一哉・金澤信之ほか(2025)『教師の「やりがい」とは何か』小鳥遊出版、978-4-86780-074-4			
参考書・参考資料等			
天野一哉(2013)『中国はなぜ「学力世界一」になれたのか—格差社会の超エリート教育事情』中公新書ラクレ、978-4121504562 佐藤晴雄(2018)『教職概論 教師を目指す人のために』学陽書房、978-4313611375 中央教育審議会答申(令和3年1月)『「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」 https://www.mext.go.jp/content/20210126-mxt_syoto02-000012321_2-4.pdf			
学生に対する評価			
スクーリング評価(25%)、レポート評価(25%)、科目修得試験(50%)			